



無所属・無党派 浦和の復権に挑戦

発行者：さいたま 変革の会

# 川村 準

## 8月4日号

〒336-0017  
南区南浦和2-28-9-102  
携帯 090-1404-2151

junkawamura1923@gmail.com

### 週刊 活動レポート

## さいたま市 ここが問題

# 税金の無駄使いを許さない 議員に代って住民監査請求しました

さいたま市は現在、待機児童など喫緊である福祉の問題解決が問われる中、税金の無駄遣いが常態化し、税金の使われ方がとても公正とは言えない市政の運営がなされています。その中でも、自転車レース「さいたまクリテリウム」は、市長が市議会を無視して独断で追加予算を組むなど、市民や市議会を無視して巨額の税金を費やしています。消費税が上がり市民生活が苦しい中、市議会を無視して市民の税金を野放図に使われることは許されるのか。今回の市長決済の問題点を議員に代って私が市に問いました。

## 市長決済の違法性を指摘

先日、私は昨年10月に開催された自転車レース「さいたまクリテリウム」に対する市の補助金に関して違法性が含まれると考え、市に対してもの申しました。経緯は次の通りです。

「さいたまクリテリウム」は決算段階で予算を倍上回る約3億円の資金が必要なことが明らかに

先日、私は昨年10月に開催された自転車レース「さいたまクリテリウム」に対する市の補助金に関して違法性が含まれると考え、市に対してもの申しました。経緯は次の通りです。

## 市長専決、違法性が2点

今回の専決処分には次の2つの問題点があります。①専決処分の本来の法律趣旨は、災害時など緊急性の事態がある時に限るべき。今回の市長

今回の専決処分には次の2つの問題点があります。①専決処分の本来の法律趣旨は、災害時など緊急性の事態がある時に限るべき。今回の市長

2月議会では、議会がこの専決処分を容認。議会が市長に対して議会を無視して欠損の穴埋めをしても良いよ、と認める異例の形となりました。

の専決処分は、業者へのお金を滞りなく執行するため、と要件を満たしていない。

②「さいたまクリテリウム実行委員会」の会長

が清水市長となっている。であり、民放108条の双方代理の禁止(利益相反)に抵触する恐れがある。

## 大宮競輪の職員も「クリテリウム」を問題視

以上の違法性を指摘し、賛同者をつのつたところ、私を中心とした計5人で市に対して違法性をもの申す事になりました(住民監査請求)。5人の中には、大宮競輪の職員の方も含まれています。「さいたまクリテリウム」は、フランスのスポーツ興行の運営会社であるASOが主体となっており、地元組織である大宮競輪は帳簿の外に置かれています。さいたま市自体

の専決処分は、業者へのお金を滞りなく執行するため、と要件を満たしていない。

今後、市の監査委員に対して意見陳述を行う機会がきます。私たち市民一人一人が納めた税金です。しっかりと、市民の声を代弁したい、と考え

# 補助金返還を

## 市民4人が住民監査請求

昨年秋開催された国際自転車競技大会「さいたまクリテリウムbyツールドフランス」で、さいたま市の清水勇人市長が大会予算の赤字補てんとして、補助金1億5200万円を支出する専決処分をしたのは地方自治法に違反す

【埼玉新聞】  
6月3日付け ▼

るなどとして、市民有志4人が2日、補助金の全額を市へ返還するよう市長に勧告することを求める住民監査請求を行った。

市民の有志が監査事務局に提出した請求書によると、専決処分は震災など不測の事態に対応するために行われるのが通例で、今回の補助金支出は地方自治法で定めた要件を満たしていないと指摘。清水市長は「さいたまクリテリウム実行委員会」の会長にもなっており、補助金を支出する市と受け取る側の実行委で代表を兼ねることは、双

方の代理となるのを禁じた民法にも抵触すると訴えている。

市役所で会見した市民有志の代表で緑区の会社員川村準さん(26)は「市長は市民感覚を無視して、血税を安易に使ってしまった。住民訴訟を起すことも念頭に置いている」と述べた。

さいたまクリテリウムは、当初見込みの約3億5千万円から総事業費が約5億5500万円に増加した。当初予算で支出した1億5千万円に加え、市は昨年12月定例会議で補助金1億5200万円を追加支出する補正予算案を提出。審議未了で廃案となったため、清水市長は今年1月に専決処分を行い支出した。(田付智大)

# 各紙で報道されました

埼玉、東京新聞以外にも、読売、朝日、毎日、産経新聞など主要各紙にも掲載され、テレビ埼玉でもトップニュースで取り扱われました。私の今回の監査請求以前も、専門家が市長の独断決定を疑問視するコメントを出されていました。おかしいと思ったことは、おかしいのでは、と直接疑問を呈したいと私は考えております。

## さいたま市を川村準と考える会 さいたま市に求められる政治 無所属が出来る議会改革

参加無料

講師：榎本和孝氏 (蕨市議会議員)  
日時：10月11日(土) 午前10時〜12時  
会場：武蔵浦和「コミュニティセンター」第6集会室 (サウスピア8階)

▼榎本和孝氏プロフィール 2011年蕨市議会議員に当選後、無所属で活躍。蕨議会会で唯一、政務活動費の受け取りを拒否。市政事務の消費増税分の値上げに反対するなど、生活者目線の市政を実現するため日夜取り組んでいる。

# 専決違法と監査請求

自転車レース 追加補助金  
さいたま市民ら

さいたま市で昨年開催された自転車レース「さいたまクリテリウムbyツールドフランス」の赤字補てんのため、清水勇人市長が追加補助金一億五千二

百万円を専決処分で行ったのは違法だとし、さいたま市緑区の会社員川村準さん(26)ら4人が2日、市長に金額を返還させるよう求める住民監査請求を

した。川村さんらは専決処分は通例、災害など緊急の場合に用いられると主張。今回の追加補助金の執行は、地方自治法の定める専決処分の要件を満たしていないとしている。

市長は昨年十二月の定例会議に追加補助金の補正予算案を提出したが、市議会が審議未了のまま廃案としたため、専決処分で行った。市議会は今年二月、この専決処分を賛成多数で承認した。(岡本太)

【東京新聞】

6月3日付け

## 川村 準 (「さいたま 変革の会」代表) のプロフィール

1987年11月生まれの26歳。旧・浦和市の大牧小学校、大間木中学校、都内の私立・順天高校を卒業後、渡米。2007年ノースイースタン州立大学入学(米国・オクラホマ州)。留学中に、米国人を始め自国の文化に誇りを持つ多数の外国人と触れ合い、日本のあり方を考える機会に。2011年12月卒業後、浦和に戻り、現在、工業系新聞の記者として働きながら、故郷の文化を始め市政の問題点について勉強中です。